



2022年11月11日

各位

会社名 株式会社アイ・ピー・エス
銘柄名 株式会社IPS
代表者名 代表取締役 宮下 幸治
(コード番号：4390 東証プライム)
問合せ先 経営企画部次長 赤津 博康
(TEL. 03-3549-7719)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表しました2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の通期連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 12,000	百万円 2,920	百万円 2,820	百万円 1,700	円 銭 137.18
今回発表予想（B）	12,000	3,300	3,900	2,700	217.30
増減額（B－A）	0	380	1,080	1,000	—
増減率（%）	0	13.0	38.3	58.8	—
（ご参考）前期連結実績 （2022年3月期）	10,728	2,456	2,897	1,888	152.37

2. 修正の理由

通期の業績予想につきまして、第2四半期連結累計期間の実績および今後の事業進捗状況を考慮し、前回業績予想を修正いたします。

第2四半期連結累計期間の実績においては、国際通信事業において、国際通信回線の早期提供がなされ、IRU 契約による案件の収益計上がなされたことにより、売上高および営業利益が計画を上回り、また、円安の進行による為替差益740百万円の計上があり、経常利益および四半期純利益が大きく計画を上回りました。

第3四半期以降においても、フィリピン通信事業において営業力の増強などの先行投資負担の影響を受けるものの、国際通信回線の提供が順調に進む見込みであることから概ね計画通りの収益を見込んでおります。また、第2四半期に計上した為替差益については、為替動向などが不透明であることから、第2四半期期末の為替レートの水準で推移したと想定し、経営利益および親会社株主に帰属する当期純利益予想を算定しております。

なお、今期の期中平均為替レートは、1ドル120円から130円に変更しております。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合がございます。

以 上